

海洋

講演

2019年
7月27日（土）

プラスチックについて

- 海と日本 PROJECT -

会場：函館市中央図書館 視聴覚ホール

第1部 14:00 - 14:45



海洋環境と人間のかかわり

講師：宮下 和士（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授）

昨今の人間活動の増大は、気候変動とともに地球環境に多くの負の影響を及ぼしています。そして海洋もまたその例外ではありません。本講演では、海洋環境を取り巻く現状について簡単に紹介するとともに、問題解決のためのようなアクションがとられているのかを、国内外の背景を基にお話ししたいと思います。

第2部 15:00 - 15:45

海鳥からみる海洋プラスチック汚染の拡大

講師：綿貫 豊（北海道大学大学院水産科学研究院 教授）

現在、毎年1000万トン近くのプラスチックが海に流出しています。この量は世界の年間漁獲量の1割にも相当します。プラスチックは分解しないので、10年後には年間漁獲量と同じ量のプラスチックが海の中にあることになります。これまでの蓄積とこれからの流出を考えると海洋環境中のプラスチック量は相当です。海鳥によるプラスチック摂取は1960年代から、さまざまな海域で報告されており、その報告数は加速度的に増えています。最近ではミズナギドリの間では9割もの個体の胃の中からプラスチックが出てきます。どのようなものを飲み込んでいるのか、なぜ飲み込むのか、その影響としてどういったものが考えられるかについてお話ししたいと思います。

お問合せ 北海道大学大学院水産科学研究院 マリン・ラーニング事務局（平日10時～17時）

☎ 0138-40-5544

✉ umicon@fish.hokudai.ac.jp



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています



海と日本
PROJECT